

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月27日更新

事務事業名	検診事業	<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部 健康福祉部	課長名 澤田 勝矢					
体系	施策	15	健康づくりの推進	所属課 健康づくり推進課	担当者名 田中 景子					
	施策の柱	44	病気の早期発見	所属班 健康推進班	(内線) 2133					
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番 10367	根拠法令 健康増進法	健康増進法	がん対策基本法	成果優先度評価結果 ②	コスト削減優先度評価結果 ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和58年より老人保健法の施行に伴い開始。平成20年度より法改正による健康増進法及びがん対策基本法に基づき実施。大腸ファイバー検診、がん複合検診、子宮がん・乳がん施設検診を実施。平成20年度から社会保険の人間ドックの助成廃止等により、がん複合検診受診者の増加が見られる。また、平成21年度から女性特有のがん検診推進事業が開始され、子宮頸がん検診は20・25・30・35・40歳の女性に、乳がん検診は40・45・50・55・60歳の女性に対し、検診無料クーポン券を配付して実施。平成26年度から対象者が子宮20歳、乳40歳のみ(名称が「新たなステージ」に入った検診の総支援事業)に変わった。実施期間は9月から2月。平成23年度より、集団検診時に肺がん検診(40歳以上)を実施。また、平成23年度より、働く世代の大腸がん検診推進事業が開始、対象は40・45・50・55・60歳の方(平成26年度より「がん検診推進事業」と名称が変わった)。大腸ファイバー検診時、がん複合検診時に対象者は検診料無料とし、また冬季にはクーポン券を検便容器等と一緒に郵送し、採便後郵送で返送してもらおう郵送検診を実施。25歳以上で、職場等で健診を受ける機会がない市民(生保含む)、または、年度途中で国保加入の39歳から74歳を対象に生活習慣病健診を実施。
【業務の流れ】	各検診機関との打ち合わせ、契約事務、がん検診申し込み票の打ち出し発送事務、検診会場の確保、対象者の把握、検診票打ち出し、検診票発送準備、不要者登録、検診受付、検診結果管理入力、委託料支払い事務、クーポン券印刷準備(委託先との打ち合わせ、調整)30歳から38歳の国保加入のデータを生活習慣病健診を委託している菊池養生園に渡し、生活習慣病健診の間診票作成を委託。市に納品後、発送。国保以外の25歳以上の市民へ、広報等で周知し、生活保護受給者にはCWVに受診券を配付依頼。
【主な予算費目】	委託料、需用費(消耗品・印刷製本費)、役務費(郵送料)
【意見や要望】	市民の方から、検診の実施内容(時期・方法・検診会場など)については、見直しの意見をいただくこともある一方、このような機会があって、病気の発見や生活の改善ができたという意見もある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
<small>●健康増進法に基づき、①大腸ファイバー検診 ②がん複合検診 ③子宮がん、乳がん施設検診 ④新たなステージに入ったがん検診 ⑤がん検診推進事業(検便血検査) ⑥生活習慣病健診を実施した。</small> <small>●大腸ファイバー検診 5月に説明会6月に検診を1日実施。受診者：ファイバー検診554人、便血検査507人。</small> <small>●がん複合検診 9月～10月にかけて2日間実施。</small> <small>●子宮頸がん検診 1,682人。大腸検診 4,374人、肺がん、2,548人、子宮がん、1,787人、乳がん検診 3,347人(その内、乳房超音波マンモグラフィセット：1,620人)。子宮頸がん検診 検診者 25歳から59歳、乳がん検診 40歳から69歳。</small> <small>●新たなステージに入ったがん検診の総支援事業 検診者：子宮がん38人、乳がん153人。</small> <small>●肺がん検診推進事業「集団検診」大腸がん検診、12月から2月にかけて郵送検診を実施。受診者1,310人。</small> <small>●生活習慣病健診 26人が受診。</small> <small>●委託料に付する事務費システム改修を行った。</small> <small>●がん検診申込み票のサイズ変更のため、検診結果管理システム改修を行った。</small>	大腸ファイバー検診は5月に説明会、6月に11日間実施、がん複合検診は9月～10月にかけて2日間(申込み者が多ければ23日間)、子宮頸がん・乳がん施設検診は、H27年度同様実施。新たなステージに入ったがん検診の総支援事業のうち、子宮頸がんは、25歳の過去未受診者を対象に拡大して実施予定である。大腸がん無料検診(40・45・50・55・60歳)及び郵送検診を高野病院の協力の下、実施。生活習慣病健診は、H27年度同様実施。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人
→ ア 受診者延数	各種健(検)診受診者の増加による委託料の増額。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人
がん検診は30歳以上の市民。但し、子宮がん施設検診のみ20歳以上の市民(女性)。	→ ア 対象者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %
検診を受ける機会を提供し受診する。	→ ア 検診受診率
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
がんの早期発見・早期治療につなげるがん検診を知ってもらい、検診をどれだけの人を受けたかを知るため。また、目標値設定の根拠として、第2次熊本県がん対策推進計画に記載されている、国の当面の目標4.0%とする。	
総トータルコスト 全体計画 ～年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	人	21,076	20,905	23,000	23,298	23,000	23,000	23,000	23,000	
② 対象指標	人	23,473	22,226	25,000	22,769	25,000	25,000	25,000	25,000	
③ 成果指標	%	22.2	23.1	40	25.1	40	40	40	40	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	2,629	1,106	896	1,261	129	129	129
		都道府県支出金	千円			770	866	770	770	770
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	52,400	52,843	58,613	60,331	61,018	55,951	55,951
		(A) 事業費計	千円	55,029	53,949	60,279	62,458	61,917	56,850	56,850
		(A)のうち指定経費	千円	624	610	652	510	509	634	634
		(A)のうち時間外、特勤	千円	624	610	652	510	509	634	634
		人件費	人	10	11	10	11	10	10	10
延べ業務時間	時間	2,260	3,332	3,000	2,027	3,000	3,000	3,000	3,000	
	(B) 人件費計	千円	9,003	13,274	11,952	7,526	11,952	11,952	11,952	
トータルコスト(A)+(B)	千円	64,032	67,223	72,231	69,984	73,869	68,802	68,802	68,802	

事務事業名	検診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各検診ともに受診者は増加しており、特に乳がん、大腸がん検診は、年々増加傾向にある。しかし、人口も増えているため、受診率は横這いである。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 高野病院と連携し、大腸がん検診についての啓発を実施。その他、がん検診及び生活習慣病健診の必要性等を広報等で周知をする。また、集団検診未受診者に対し、郵送検診を実施し未受診の理由も把握する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 毎年検診受診ができる体制はとれているが、受診率向上のため更に広報活動に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成27年度から生活習慣病健診事業と統合。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託料が予算の大半を占めており、必要経費の最少額で実施している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 嘱託職員の事務内容を改善し、通知発送作業や検診申し込み票回収後の作業等に従事できるよう改善した。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 70歳以上は約1割、30歳以上は約3割の負担額を徴収、新たなステージに入った検診の総合支援事業、がん検診推進事業対象者は検診無料クーポン券を配付している。生活習慣病健診は、特定健診同様個人負担額を委託料の約2割の負担で受診できるよう設定している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民への啓発・情報提供・検診申込み取りまとめ・結果発送・結果説明指導等は行政で実施。検診予約の割り振り・集団検診の料金徴収・案内・検診結果データ作成等は検診機関が実施。役割を分担している。

3 評価結果の総括 (CHECK)

成果指標の算出方法を変更。大腸がん検診について記載。高野病院と連携し、受診率向上のために取り組む。

がん検診の受診者延べ人数は増加している。土曜、日曜にがん複合検診実施。昨年に比べ地区割も見直し若干受診者の増加がみられた。また、検診の重要性について市民に理解してもらうため、広報活動を続けていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>年々、がん複合検診申込者は増加傾向にあり、平日の検診日程の確保に苦慮している。今後は土日の検診日程を増やすことを検討する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>検診申込期限を過ぎても受付を行なうことで、検診日程をどのくらい確保すればよいか分からないため、検診申込票を期限までに提出してもらうよう周知徹底をする。</p>																						